

20  
1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
30  
1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
40

倭文庫三拾編

嘉永八年  
乙卯阪月  
新刊

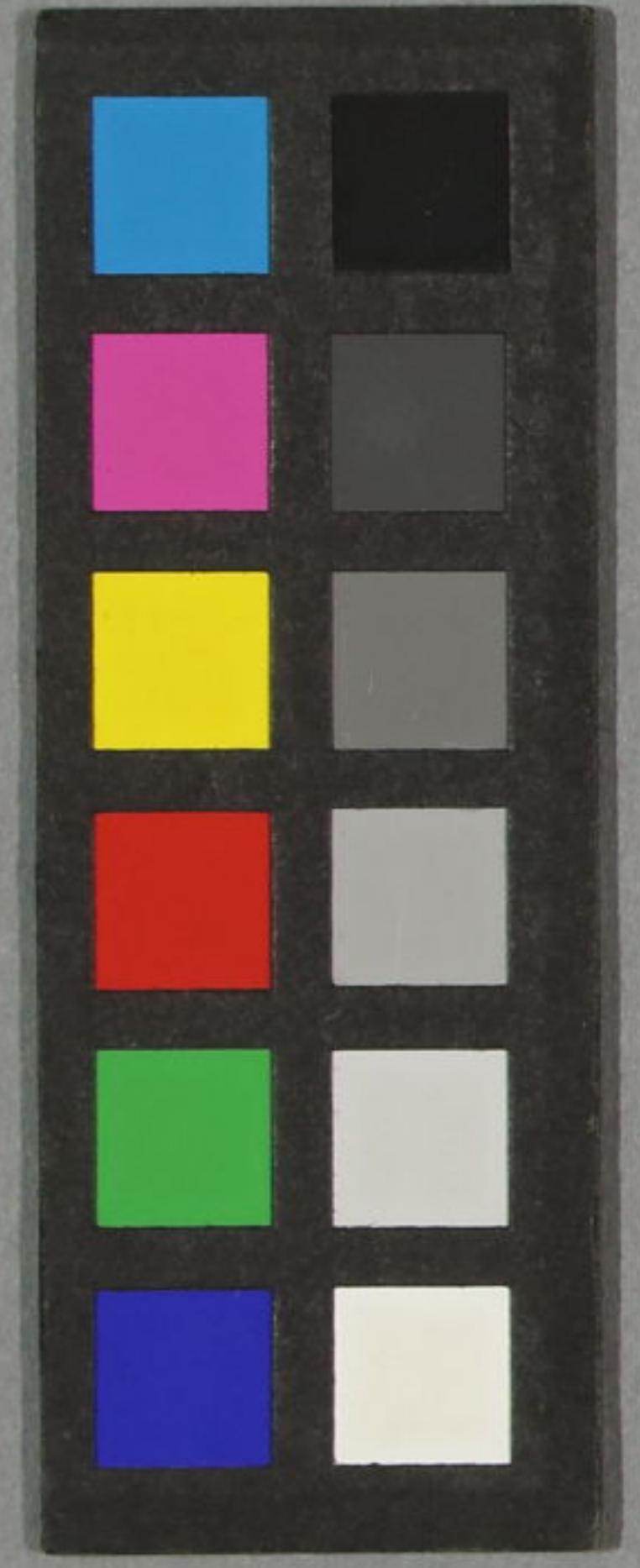
歌川國貞画



錦堂  
版

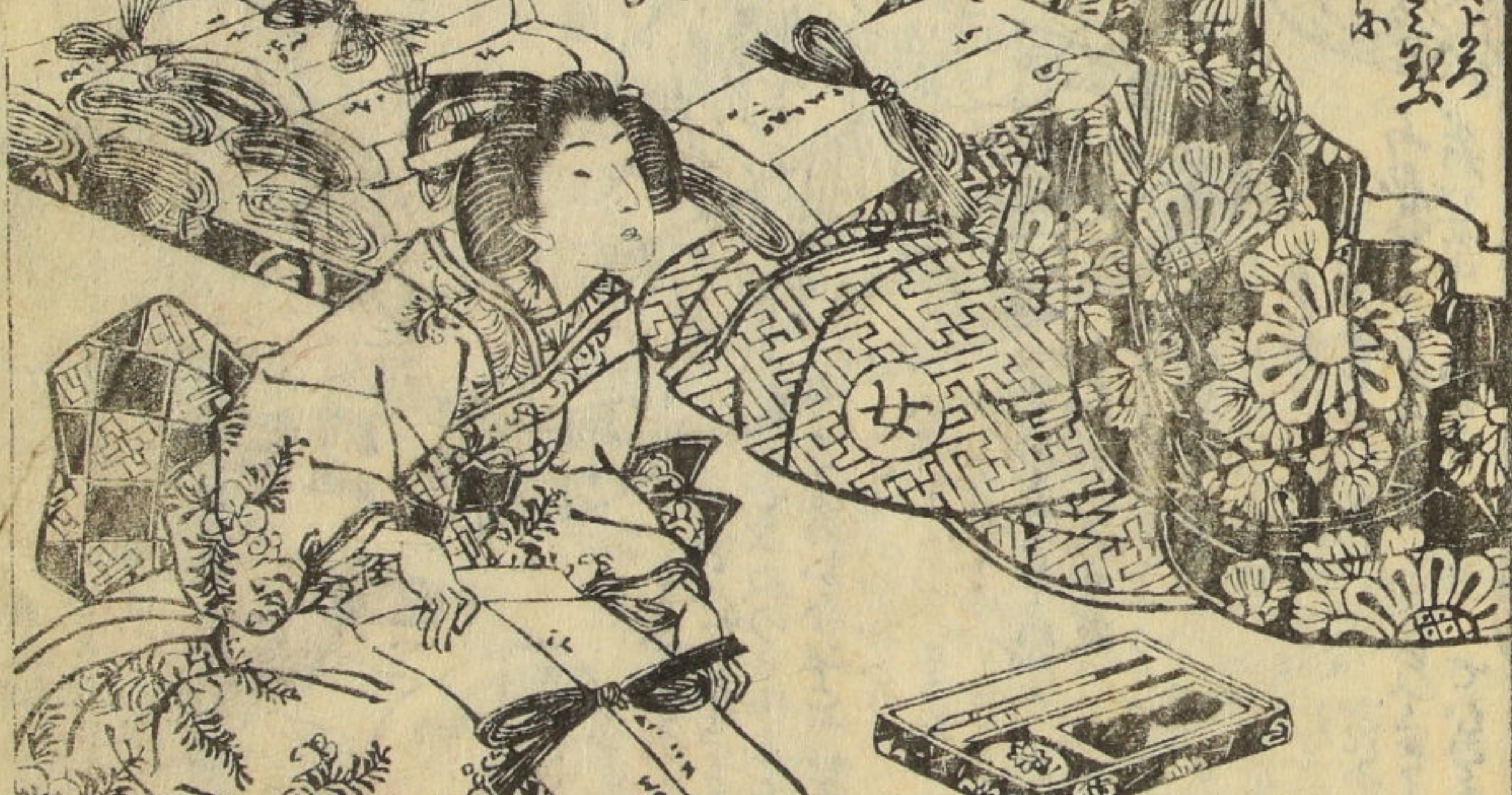
下

~ 13  
3785  
63



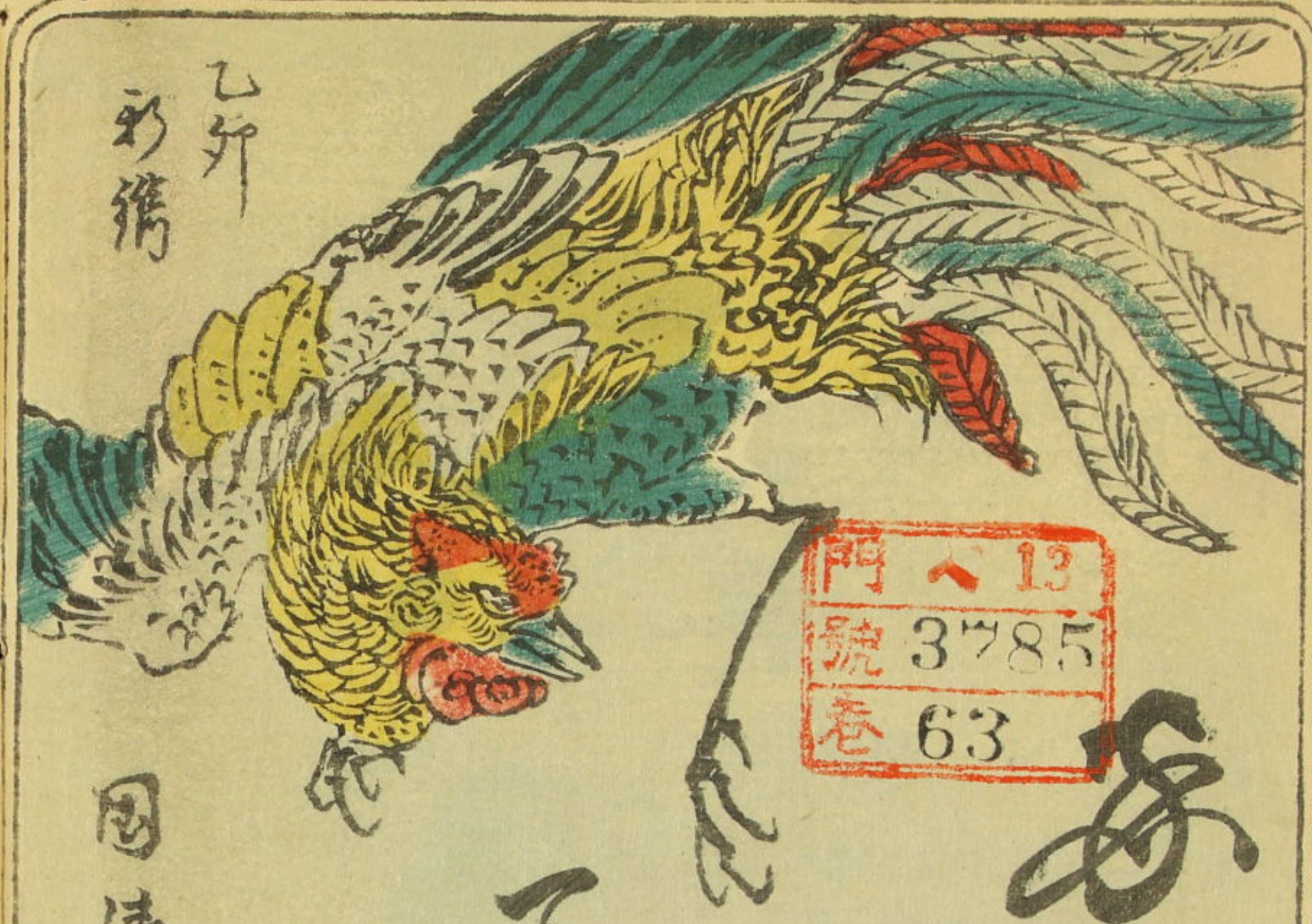
上のあたりをきくやうに  
 幸うぬ如東のた  
 うううううううう  
 うううううううう  
 うううううううう  
 うううううううう  
 うううううううう  
 うううううううう  
 うううううううう  
 うううううううう  
 うううううううう  
 うううううううう

かたはらまたうううう  
 たるうううううう  
 うううううううう  
 うううううううう  
 うううううううう  
 うううううううう  
 うううううううう  
 うううううううう  
 うううううううう  
 うううううううう  
 うううううううう  
 うううううううう



かとうとわ平  
 うううううう  
 うううううう  
 うううううう  
 うううううう  
 うううううう  
 うううううう  
 うううううう  
 うううううう  
 うううううう  
 うううううう

林文庫三十一



門 12  
 號 3785  
 巻 63

林文庫

三十二編

中孔表

了多字也  
 一書何種也

二重はん

因情

乙并  
 新編



いかに女子はまはるかに  
 こころあつらふもあつらふ  
 女房のまはるかに  
 こころあつらふもあつらふ  
 いかに女子はまはるかに  
 こころあつらふもあつらふ  
 女房のまはるかに  
 こころあつらふもあつらふ

たぢりかごとつらり  
 きよしつけある  
 女房か  
 きよしつけある

あつらふもあつらふ  
 こころあつらふもあつらふ  
 いかに女子はまはるかに  
 こころあつらふもあつらふ  
 女房のまはるかに  
 こころあつらふもあつらふ

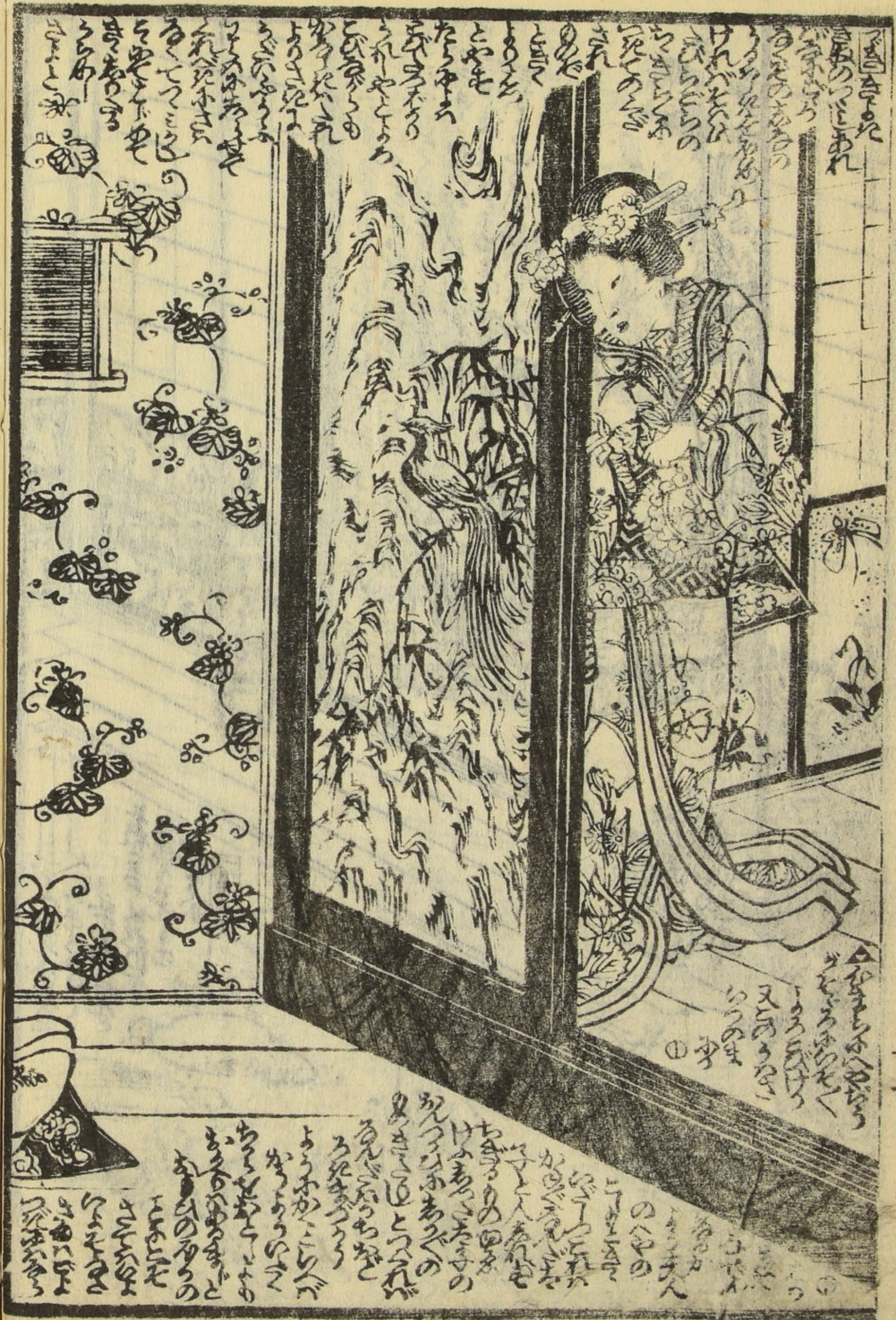


いかに女子はまはるかに  
 こころあつらふもあつらふ  
 女房のまはるかに  
 こころあつらふもあつらふ  
 いかに女子はまはるかに  
 こころあつらふもあつらふ  
 女房のまはるかに  
 こころあつらふもあつらふ

たぢりかごとつらり  
 きよしつけある  
 女房か  
 きよしつけある

あつらふもあつらふ  
 こころあつらふもあつらふ  
 いかに女子はまはるかに  
 こころあつらふもあつらふ  
 女房のまはるかに  
 こころあつらふもあつらふ





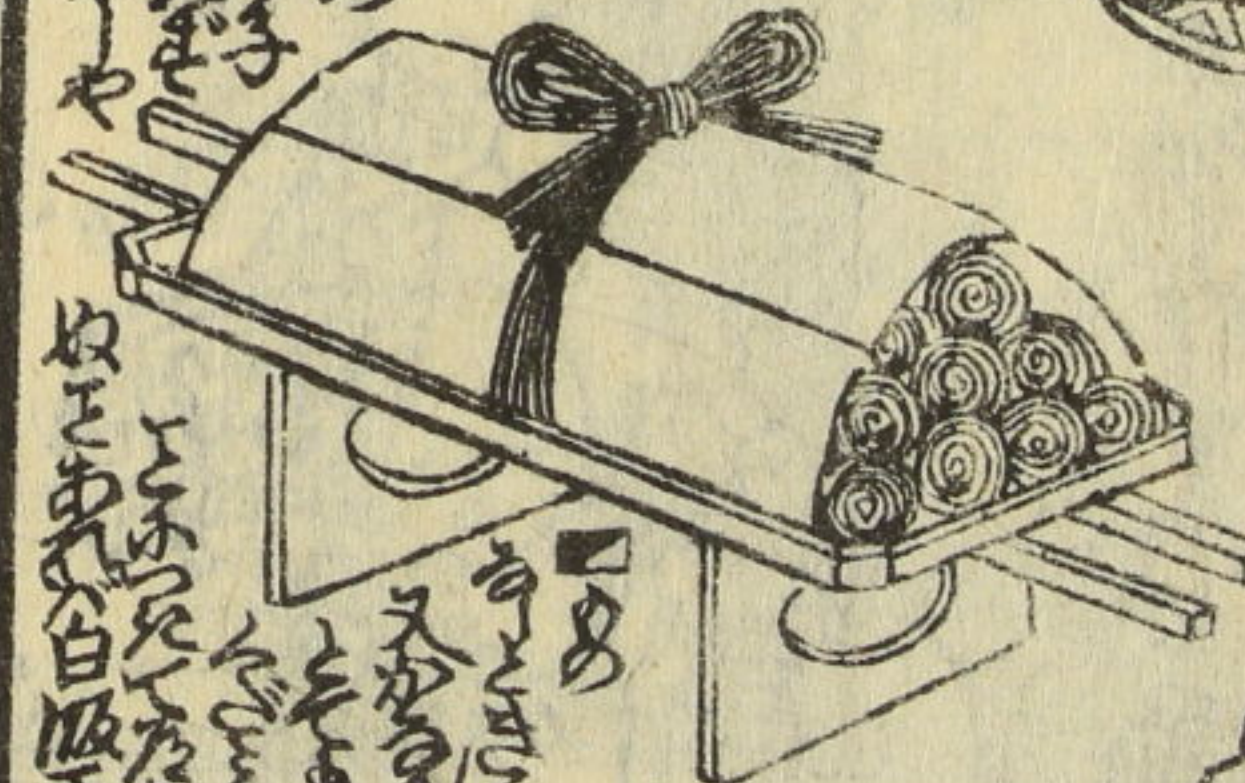
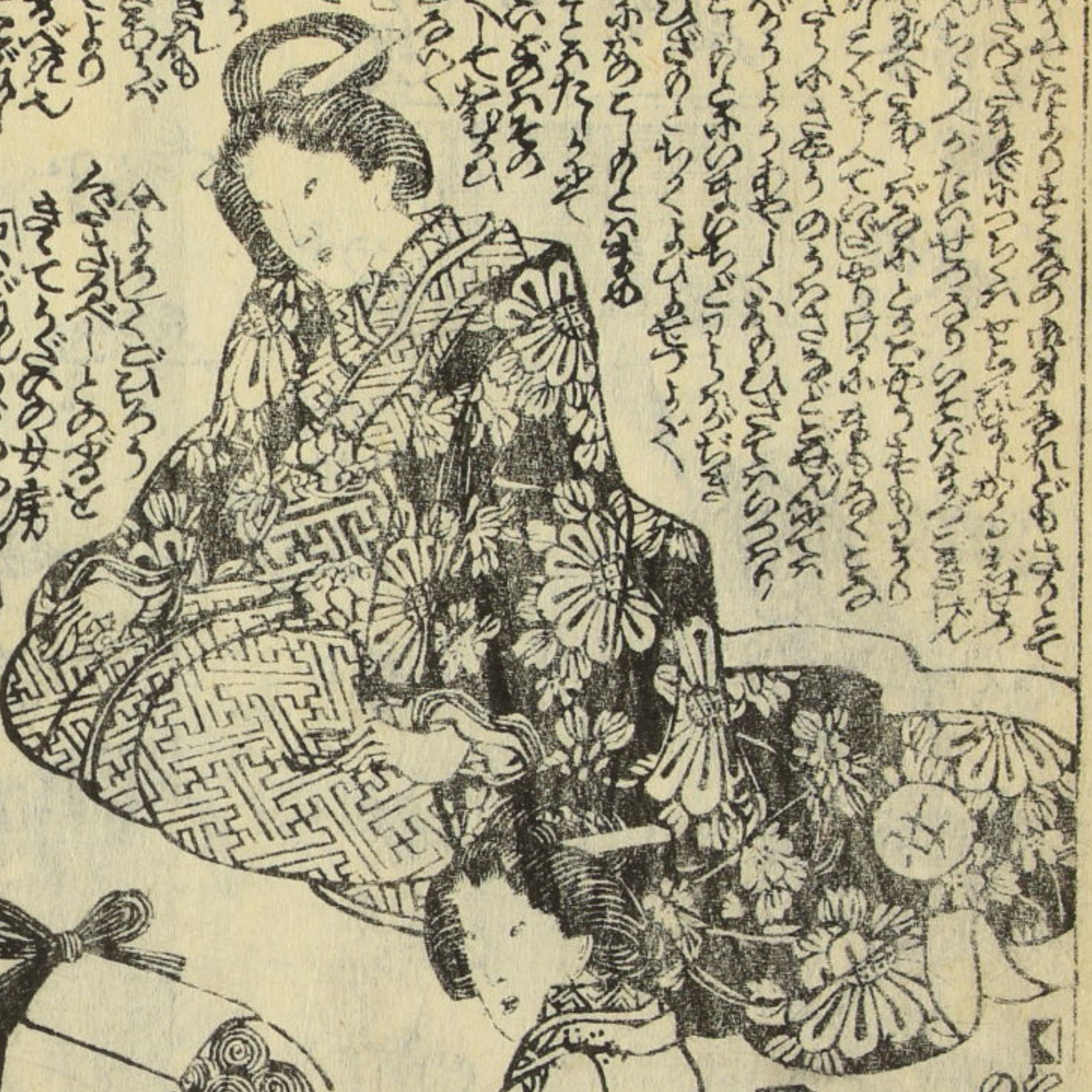
後文庫三十一

...

...

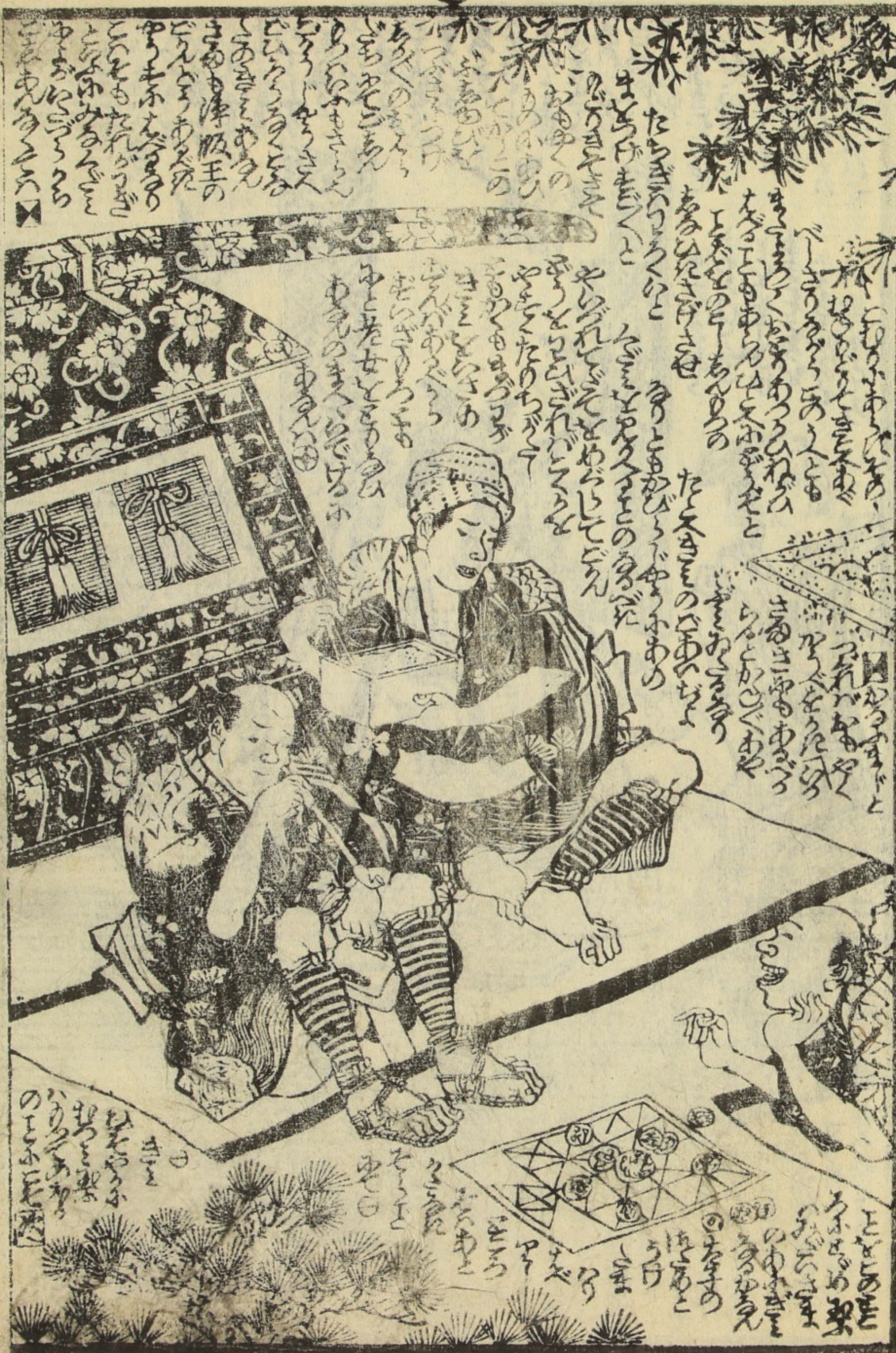
...

御世物語の一場、右の女は花柄の着物を着て、籠を手に持ち、左の女は白装束を着て、籠に花を挿す。背景には茶室の障子と道具が描かれている。



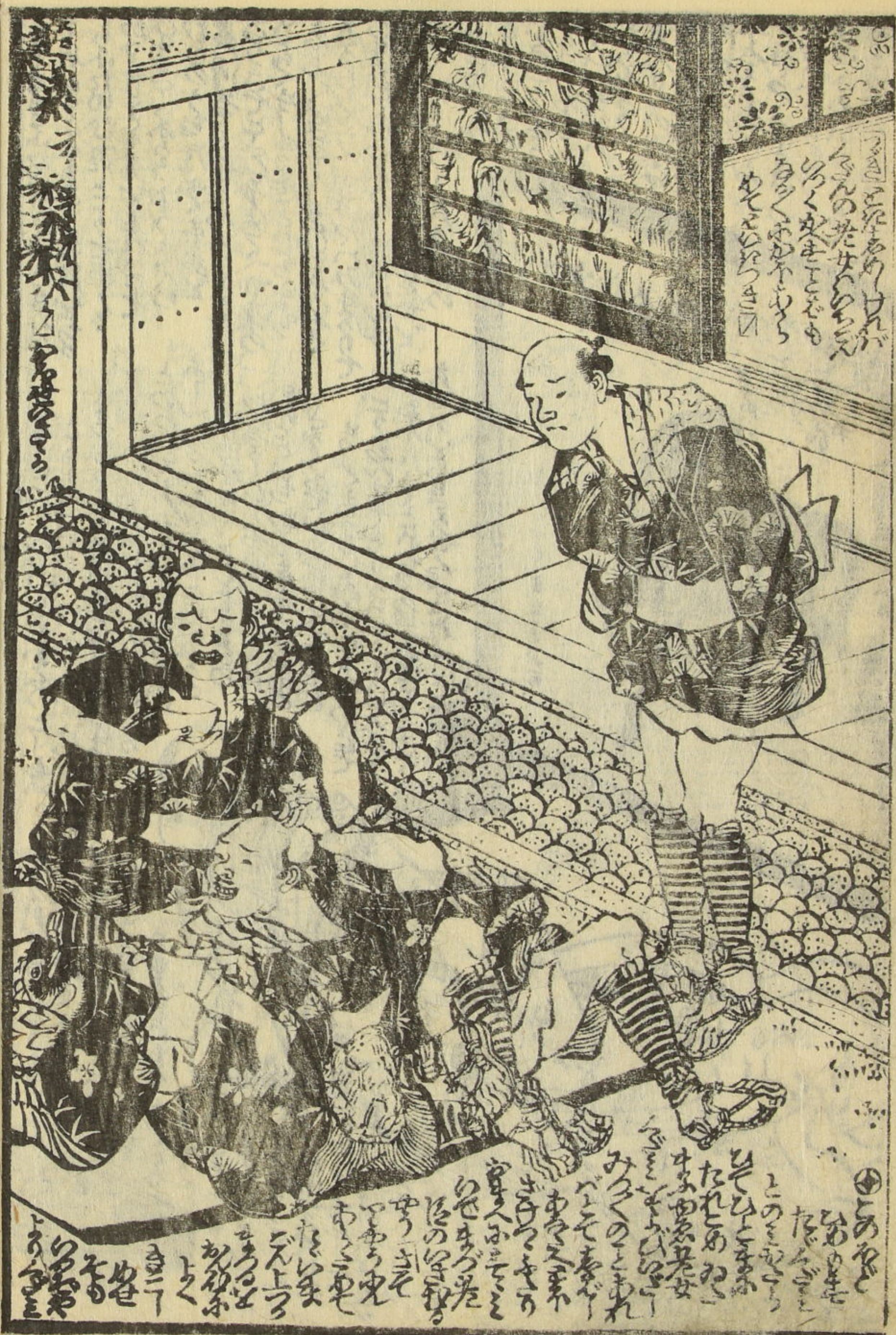
御世物語の一場、左の女は着物を着て、右の女は着物を着て、馬を飼育している。背景には馬の厩舎が描かれている。





大坂文庫三十一

十六



大坂文庫三十一

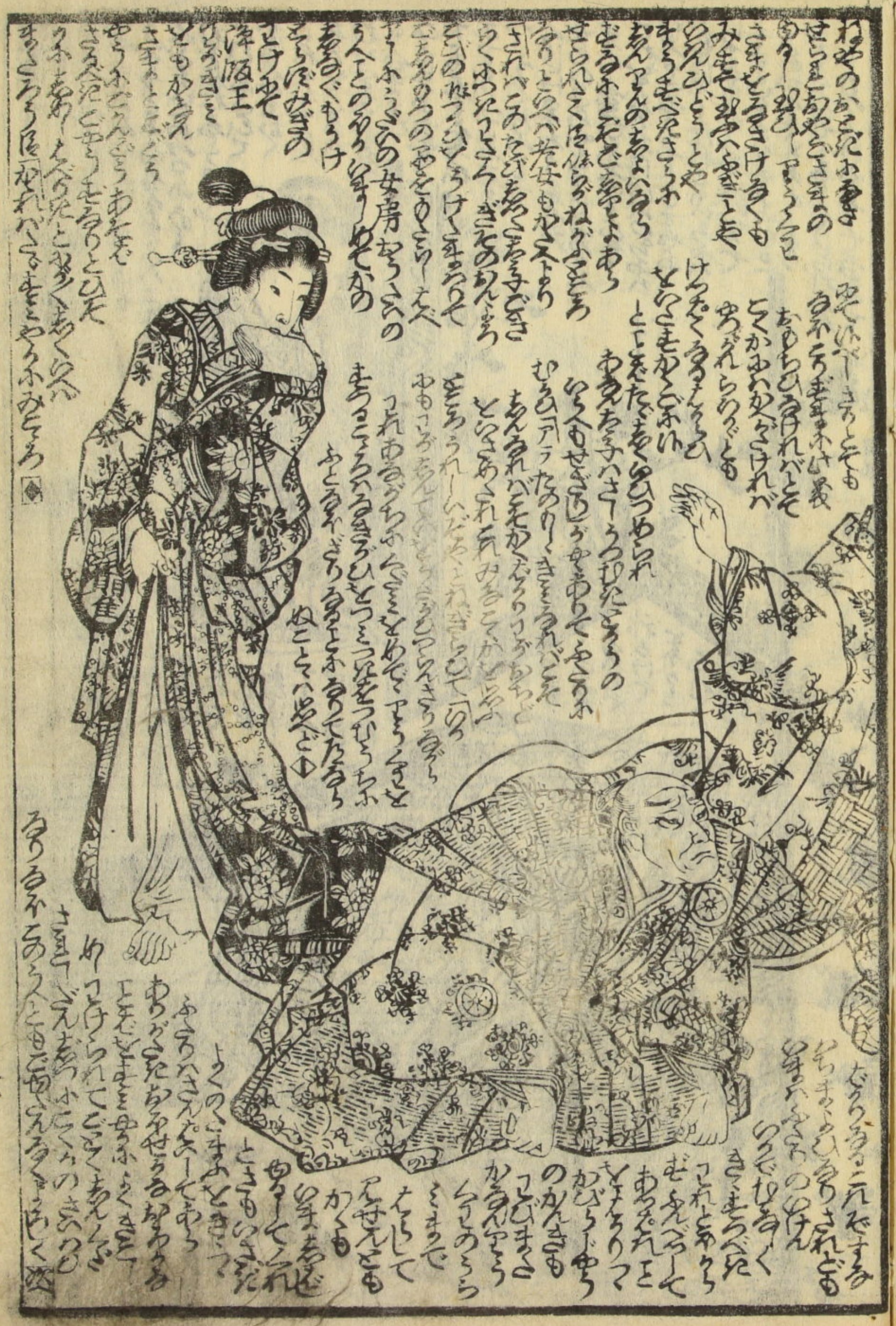
十七



あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり

あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり

あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり



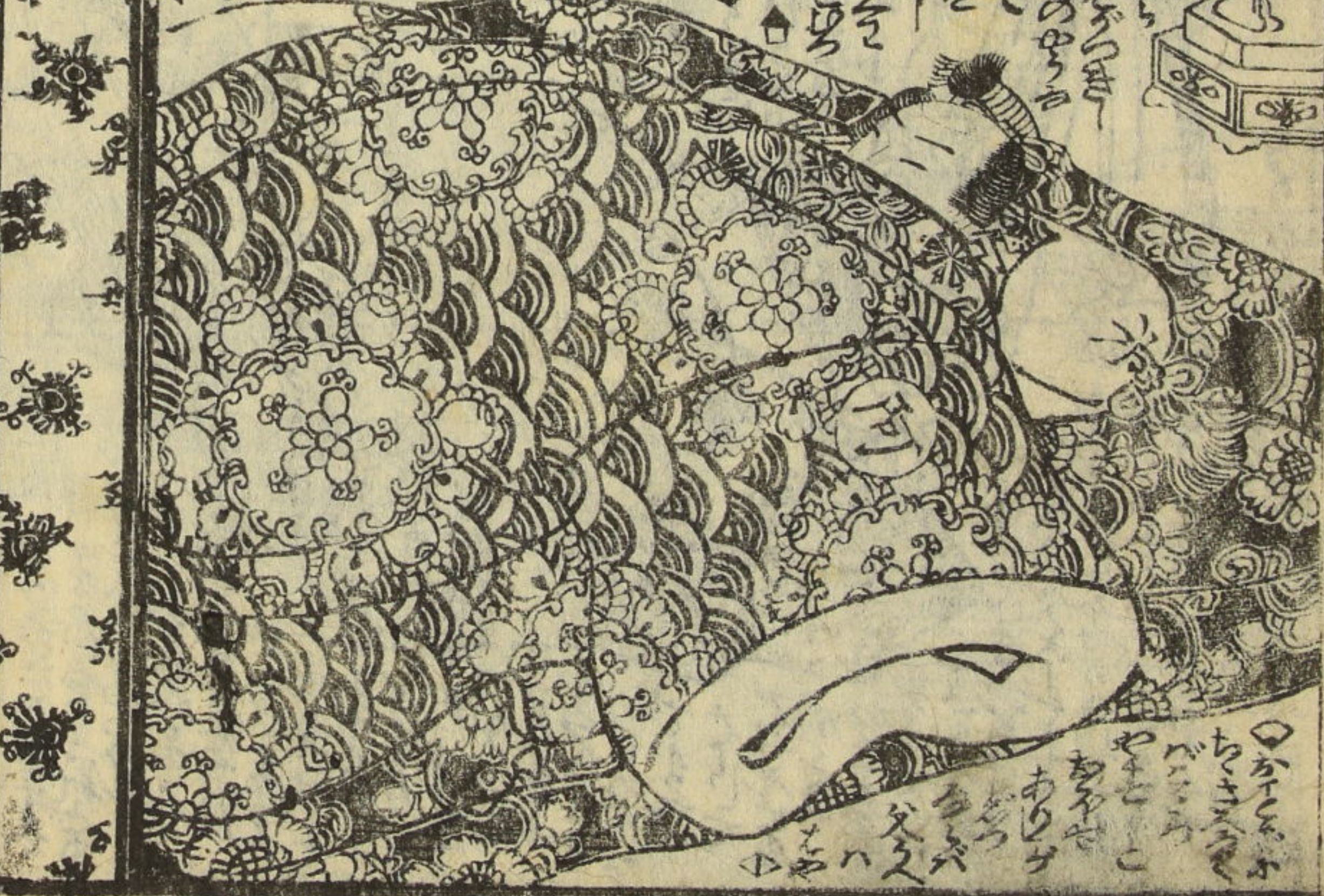
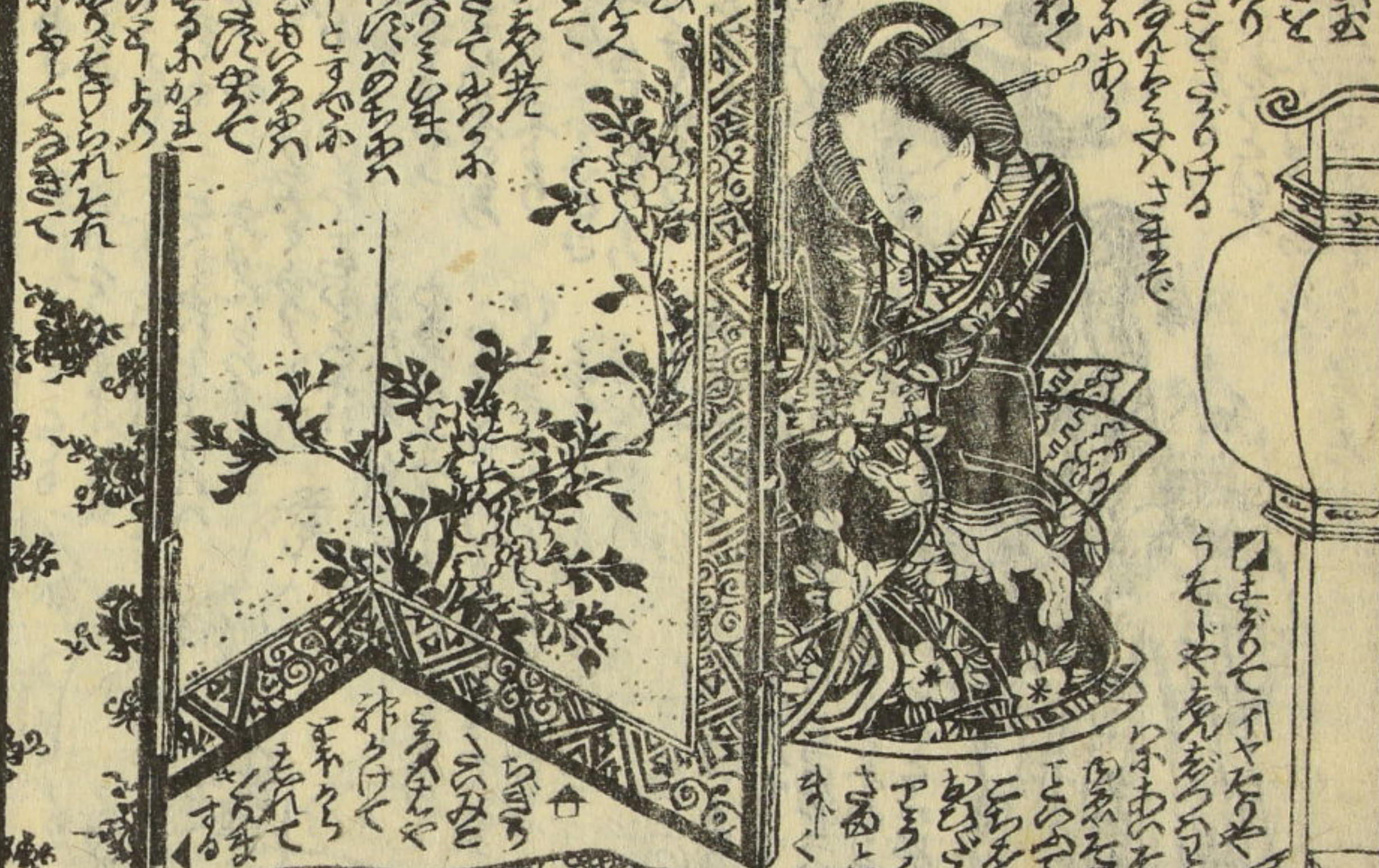
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり

あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり

あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり  
あつたはり

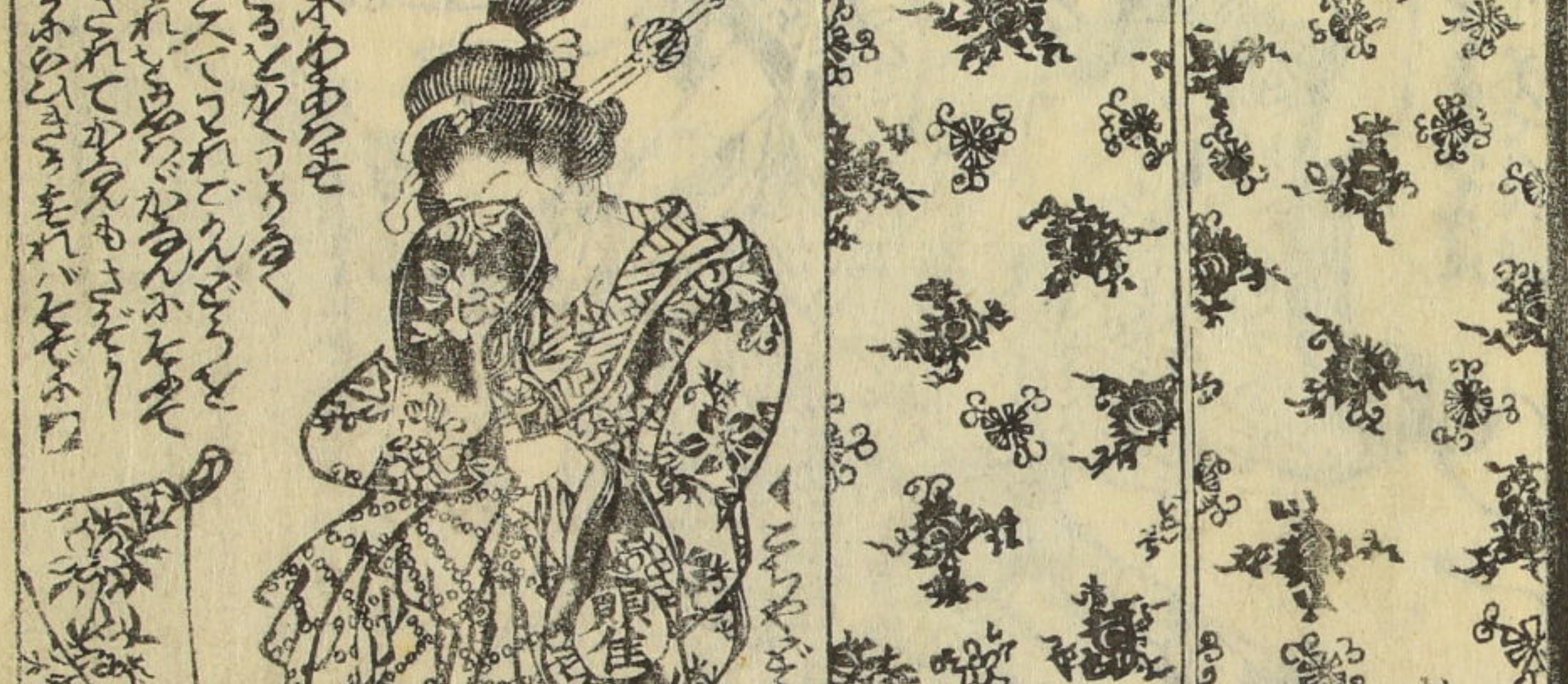


徳川文庫  
江戸の文化  
浮世草子  
浮世草子  
浮世草子  
浮世草子



徳川文庫  
江戸の文化  
浮世草子  
浮世草子  
浮世草子

徳川文庫  
江戸の文化  
浮世草子  
浮世草子  
浮世草子  
浮世草子  
浮世草子  
浮世草子



徳川文庫  
江戸の文化  
浮世草子  
浮世草子  
浮世草子  
浮世草子  
浮世草子  
浮世草子

徳川文庫  
江戸の文化  
浮世草子  
浮世草子  
浮世草子  
浮世草子  
浮世草子  
浮世草子





Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a list of names or descriptions related to the figures in the illustration.

Handwritten Japanese text in vertical columns, continuing the list or descriptions from the top section.

Handwritten Japanese text in vertical columns, continuing the list or descriptions from the middle section.



Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a list of names or descriptions related to the figures in the illustration.

Handwritten Japanese text in vertical columns, continuing the list or descriptions from the top section.

Handwritten Japanese text in vertical columns, continuing the list or descriptions from the middle section.

Vertical text on the left margin of the left page.

Vertical text on the left margin of the left page.

倭文庫出世双六  
 万亭應賀作  
 陽齋豊國画

春の将棋双六  
 歌川貞房作

男女役替双六  
 陽齋豊國画

武家奉公出世双六  
 同同画

奥奉公出世双六  
 同同画

極上摺擬百人一首百枚揃  
 陽齋豊國画

重榮御江戸繪圖  
 奉書四枚半續

端唄ナク汐の竹  
 小井上中下の海舟の物語を  
 あらわす。舟の形も、  
 をあつた。舟の形も、  
 をあつた。舟の形も、

万亭應賀作の歌川國貞画



